

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 6 月 23 日 (2005.6.23)

【公開番号】特開 2004-178580 (P2004-178580A)
 【公開日】平成 16 年 6 月 24 日 (2004.6.24)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-024
 【出願番号】特願 2003-382877 (P2003-382877)
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 6 T 17/40

A 6 3 F 13/00

【F I】

G 0 6 T 17/40 F

A 6 3 F 13/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 11 月 26 日 (2004.11.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

立体視用印刷物の製造方法であって、

左目用視点位置とオブジェクトの各点を結ぶ投影方向で、視線方向に非直交の基準面に対してオブジェクトの各点を投影して基準面にレンダリングすることで、左目用画像を作成し、

右目用視点位置とオブジェクトの各点を結ぶ投影方向で、視線方向に非直交の基準面に対してオブジェクトの各点を投影して基準面にレンダリングすることで、右目用画像を作成し、

左目用画像と右目用画像とに基づいて立体視用印刷物を作成することを特徴とする立体視用印刷物の製造方法。

【請求項 2】

請求項 1 において、

基準面に対して投影されるオブジェクトが、基準面上に配置されるオブジェクトであることを特徴とする立体視用印刷物の製造方法。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 において、

基準面が、第 1 の基準面と、第 1 の基準面に対して所定の角度をなす第 2 の基準面を含み、

左目用視点位置とオブジェクトの各点を結ぶ投影方向で、第 1 又は第 2 の基準面に対してオブジェクトの各点を投影して第 1 又は第 2 の基準面にレンダリングすることで、左目用画像を作成し、

右目用視点位置とオブジェクトの各点を結ぶ投影方向で、第 1 又は第 2 の基準面に対してオブジェクトの各点を投影して第 1 又は第 2 の基準面にレンダリングすることで、右目用画像を作成することを特徴とする立体視用印刷物の製造方法。

【請求項 4】

請求項 1 乃至 3 のいずれかにおいて、

オブジェクトと視点位置との間の距離を長くした場合に、その長さの変化に応じて左目

用視点位置と右目用視点位置との間の距離を長くすることを特徴とする立体視用印刷物の製造方法。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 のいずれかにおいて、

オブジェクトと視点位置との間の距離を変化させる場合に、基準面に対して所定の角度をなす直線に沿って視点位置を移動させることを特徴とする立体視用印刷物の製造方法。

【請求項 6】

請求項 1 乃至 5 のいずれかにおいて、

立体視時において立体視用印刷物を載置する面を、基準面として設定することを特徴とする立体視用印刷物の製造方法。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 6 のいずれかにおいて、

左目用画像と右目用画像とをアナグリフ処理により合成することで、立体視用印刷物を作成することを特徴とする立体視用印刷物の製造方法。

【請求項 8】

請求項 1 乃至 7 のいずれかの製造方法により作成された立体視用印刷物。

【請求項 9】

請求項 1 乃至 7 のいずれかの製造方法により作成された立体視用印刷物を複製することで作成された立体視用印刷物。